

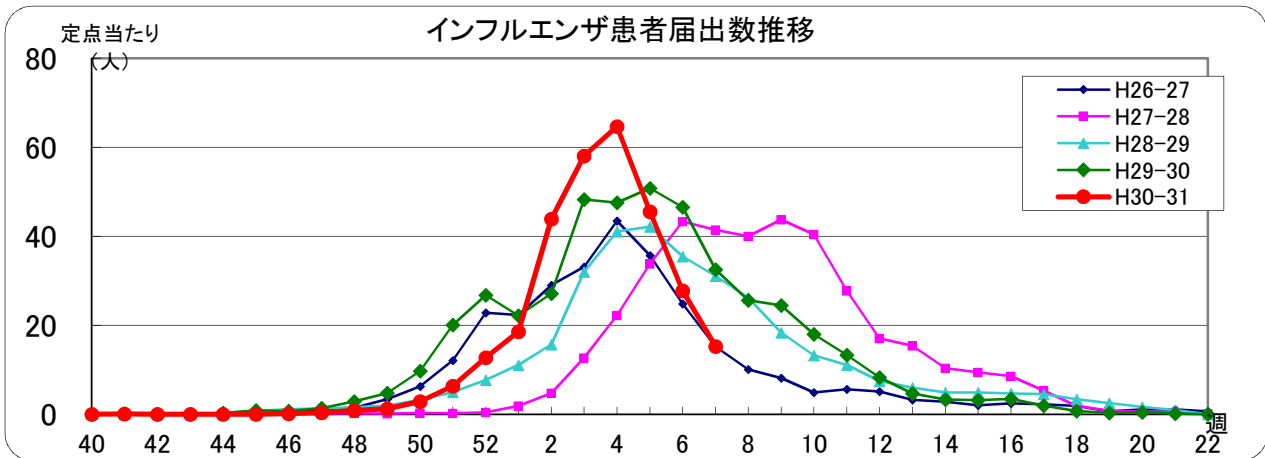
2018/19 シーズンのインフルエンザ発生状況について(2019年2月17日現在)

2019年(平成31年)2月20日
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課

1 インフルエンザの発生状況

定点当たりの患者数は、第49週(12/3~12/9)に1.28人となり、流行入りの目安となる1人を超えました。その後、第52週(12/24~12/30)に注意報基準(同10人)を上回る12.78人、第2週(1/7~1/13)に警報基準(同30人)を上回る43.87人となりました。第4週(1/21~1/27)には64.72人となり、1999年(平成11年)の調査開始以降、2番目に高い数値となりました。

最新の第7週(2/11~2/17)は15.25人で、前週第6週(27.79人)の約半数、これまでのピークである第4週(64.72人)の約1/4に減少しました。



2 インフルエンザの重症化について

インフルエンザは、稀に重い合併症を引き起こすことが知られており、高齢者や基礎疾患を持つ免疫不全患者では細菌性の二次性肺炎を引き起こし重症化することがあるほか、「インフルエンザ脳症」と呼ばれる重度の意識障害や中枢神経症状を呈する急性脳症を発症する場合があります。

2013/14年シーズンから現在までの間、感染症法に基づき急性脳炎※(脳症を含む)として届出のあった62例のうち、インフルエンザウイルスが検出された例は10例ありました。このうち、15歳未満は8例確認されています。

急性脳炎届出事例のうち	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	2017/18	2018/19	計
インフルエンザウイルス検出例	1例	1例	1例	0例	3例	4例	10例

(再括)年齢群別数

0-4歳			1		1	2	4
5-9歳	1					1	2
10-14歳					1	1	2
40歳代		1					1
70歳代					1		1

(参考)全国の状況※※	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	2017/18	2018/19	計
	96例	101例	224例	125例	166例	127例	839例

※※国立感染症研究所 感染症発生動向調査より(2018/19は2月4日現在の暫定値)

※【参考】急性脳炎(感染症法に基づく5類全数把握感染症)

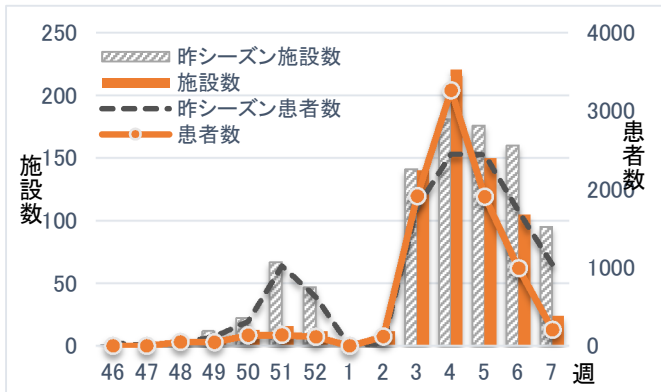
意識障害を伴って死亡した者、または意識障害を伴って24時間以上入院した者のうち、①38℃以上の高熱 ②何らかの中中枢神経症状 ③先行感染症状のうち少なくとも1つの症状を呈した場合で、明らかに感染症とは異なるものは除外した上で、診断した医師は最寄りの保健所へ届出がされる。臨床診断に基づくものであり検査診断は求められていないが、病原体が判明している場合は記載することとされている。

3 学校等の休業状況

今シーズン(H30.9.3～)、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置を取った施設(学校等)は延べ 573 施設、患者数は 7,696 人です。第4週(1/21～1/27)に 220 施設、3,266 人の患者が確認されましたが、第7週(2/11～2/17)は 24 施設、208 人と、第 4 週をピークに減少傾向を示しています。

詳細は、県ホームページ「学校等のインフルエンザ様疾患による休業状況」をご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/influ2.html>



週	第 6 週	第 7 週	今シーズン 累計
期間	2/4-2/10	2/11-2/17	
施設数(延べ)	105	24	702
内訳	休校・休園	-	13
	学年閉鎖	6	146
	学級閉鎖	18	543
患者数	994	208	8,898

4 医療機関、社会福祉施設の集団感染の状況

医療機関及び社会福祉施設でインフルエンザによる集団感染が発生したのは、63 施設で、感染者数は合計 996 人です。

	施設数	感染者数			
		入院患者数 ・利用者数	職員数	合計	うち死亡者
医療機関数	14	244	140	384	4
箇所	人	人	人	人	人
東信	6	75	46	121	1
中信	1	19	35	54	2
南信	3	51	35	86	1
北信	4	99	24	123	
社会福祉施設	49	417	195	612	5
高齢者施設	38	335	157	492	5
東信	5	34	11	45	
中信	11	88	42	130	1
南信	14	141	77	218	1
北信	8	72	27	99	3
障がい者施設等	11	82	38	120	
東信	7	55	22	77	
中信	1	7	3	10	
南信	3	20	13	33	
北信					
合計	63	661	335	996	9
東信	18	164	79	243	1
中信	13	114	80	194	3
南信	20	212	125	337	2
北信	12	171	51	222	3

5 インフルエンザの予防方法

インフルエンザによる合併症を防止するには、まず、インフルエンザに感染しないよう予防対策を徹底することが必要です。「かからない」「うつさない」ように十分注意してください。

(また、インフルエンザワクチンについては、本格的な流行期の前に接種することで、発病する可能性を低減させる効果と、重症化の予防効果が認められています。)

【かからないために】

- ・流水や石けんを使って十分な手洗いを行いましょう。アルコール製剤による手指消毒も効果があります
- ・十分な休養やバランスの取れた栄養摂取により、体力や抵抗力を高めましよう
- ・乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度を保ちましよう
- ・なるべく人混みに出かけることを避け、やむを得ず人混みに入るときにはマスクを着用しましよう

【うつさないために】

- ・具合が悪い場合は早めに医療機関を受診しましよう
- ・かかってしまったら早めに休養し、睡眠を十分とりましよう
- ・水分を十分に補給しましよう
- ・咳やくしゃみがある場合には周りの方へうつさないよう、マスクを着用するなど咳エチケットに努めましよう
- ・インフルエンザと診断されたら、学校や職場は休みましよう

長野県ホームページ

「インフルエンザ情報(季節性インフルエンザ)」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/influ.html>

「学校等のインフルエンザ様疾患による休業状況」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/influ2.html>